

ニュージージーランド研修報告



Topics of NZ

- 1 視察行程
- 2 授業の様子
- 3 子どもたちの様子
- 4 ホームステイ
- 5 Lynmore Primary schoolでの授業実践の様子
- 6 日本の学校に生かすには

1 視察行程

8月10日（土）

10:00 羽田～香港 5時間（トランジット6時間）

20:00 香港～オークランド 10時間30分

8月11日（日）

10:30 オークランド到着 バスでロトルアへ4時間30分

15:00頃 ホームステイ開始

8月12日（月）

NZの保育園、中学校、高校を視察

メインの視察校Lynmore Primary schoolを視察

8月13日（火）

Lynmore Primary schoolを視察

歓迎式ポプリ 児童による校舎案内 授業参観 スタッフミーティングに参加

8月14日（水）

Lynmore Primary schoolを視察

ジュニアクラス（5～6歳）を視察 Year1のP.Eを視察
ミドルクラスで日本文化を伝える授業実践×2
校長先生のお話

8月15日（木）

Lynmore Primary schoolを視察

ミドルクラスで日本文化を伝える授業×1 Year2の授業参観
ネイチャークラス（シニア、ミドル）の視察

8月16日（金）

Lynmore Primary schoolを視察

ミドルクラスのハカの練習を参観 ドラマクラスを参観

シニアのハカの練習を参観 オークランドへ向けて出発

8月17日（土）

オークランド観光 博物館 美術館 ショッピング

24：00 オークランド～シンガポール 10時間45分

8月18日（日）

8：00 シンガポール～羽田 6時間45分

羽田着15：00解散

NZの教育体制について

教育省→各学校 教育委員会はない

各学校はコミュニティスクールが運営
教育省、教員、保護者の8人が中心になって進める
3年で少しずつメンバーは入れ替わる

校長先生に決定権がある。
ダイレクトに人事を行う

NZの教育省は Reading Writing Mathematics の3つを重視

年2回チェックがあり、これができていれば、そのほかは学校の裁量で自由にできる。

NZの教育について①

- 義務教育はYear 1～11までの11年間が基本
- 5歳誕生日から入学可。16歳誕生日を過ぎれば自主退学可 飛び級・留年も可能
- 履修主義ではなく修得主義 小学校8年、中学校5年が基本形で、多様な形態が存在。
- 教育委員会、指定教科書を全廃...2007年に自由裁量が拡大
- 高校はすべて「総合学科」 各高校の必修科目は国語＋数学（＋科学）が基本 選択科目（NCEA連動）：
技術系／商業系／アート系等も選択可

NZの教育について②

- 高等教育進学は、国立8大学と国立職業専門大学校（ポリテク） 高等進学率は90%...大学進学は40%前後
- 一斉入学試験はない。
- NCEAという学習到達資格制度（授業＋レポート＋試験等）によって条件を満たせば、希望する学部・学科への入学申請可
- Year11-12（16-17歳）の段階で自分の進路決定を行う。
→ 選択履修科目と密接に関連

2 学校の様子 (Lynmore Primary school)

児童およそ650人 教員40人ほど

Year0 (5歳～6歳)

Year1～Year6の子どもたちが通う

8:30 登校

9:00～ モーニングルーティーン

9:15～ ブロック1

10:15～ ブロック2

11:15～ モーニングティータイム

11:30～ ブロック3

12:25～ ブロック4

1:25～ ランチ

1:55～ ブロック5

3:00 下校

Lynmore Primary School Timetable

BELL TIMES

All children need to be in the school grounds by 8.45am. All teachers will be in their classrooms by 8.30am.

8.30am	Class is open for children
8.55am	Warning bell
9.00am - 9.15am	Administration
9.15am - 10.05am	Learning block 1
10.05am - 10.15am	Brain break - snack
10.15am - 11.05am	Learning block 2
11.05am - 11.15am	Supervised eating
11.15am - 11.35am	Independent Mobility - Schoolwide
11.35am - 12.25pm	Learning block 3
12.25pm - 1.15pm	Learning block 4
1.15pm - 1.25pm	Supervised eating and Roll
1.25pm - 1.55pm	Independent Mobility - Schoolwide
1.55pm - 2.45pm	Learning block 5
2.45pm - 3.00pm	End of day reflection, pack up.

教師について

- 基本学級担任がすべての授業を行う
PE、Drama、Natureは日本でいう専科の授業
- 週に2, 5時間 クラスルームリリースタイムを設ける。
代替の先生がいるが、子どものことをよくわかっていない



教科担任制を導入したい

スタッフルーム



スタッフルームは、机はない。お茶をしに集まって情報交換もするが、基本休憩をする。



○学校の敷地が広い



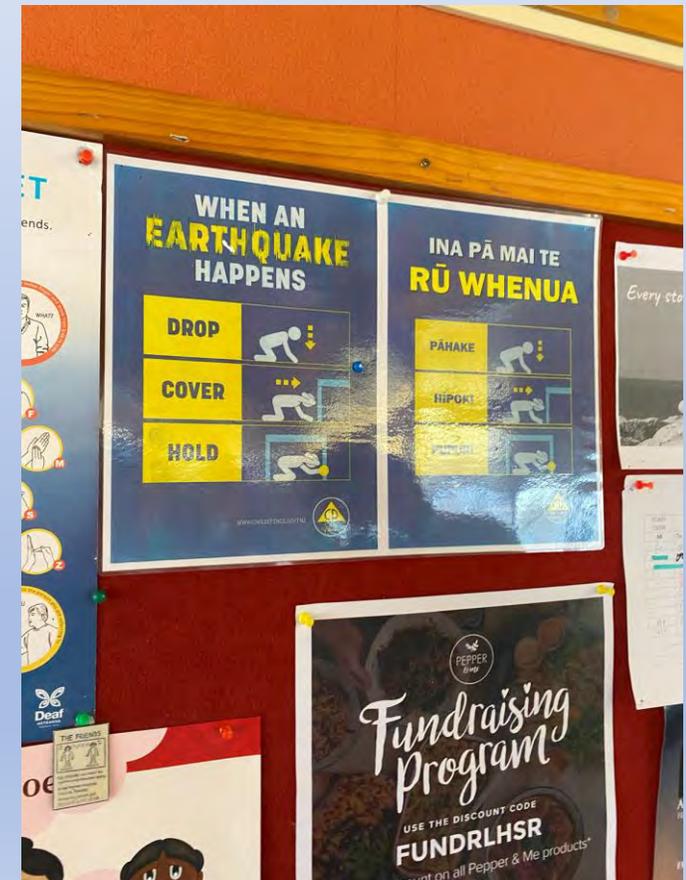
授業は基本自由進度学習、探求型学習？



マオリとの共生

ロトルアは、人口に対するマオリの割合が高く、共生が実現している。

Lynmore Primary schoolでは、Reading、Writingなど英語とともにマオリ語も学んでいる。



3 子どもたちの様子

素直で意欲的な児童が多い。

多様性を受け入れる子どもたち



NZの教育の基本的な考え方

- 子どもに学びたい、という気持ちがなければ学びにならない。
- 人生の中で役に立つことを学ぶ。すぐに結果を求めない。
- チルドレンファーストの学校教育
- マオリとの共生

課題

- ・長期欠席（ドロップアウト）が増えている。10～15%が長期欠席傾向。ロックダウン後

ホームステイについて

オールイングリッシュでの生活

よく使った英語

Can I ~? Can you ~? I want to~ I think~ I like~

Always usually sometimes More most maybe

How~ Why~ Where~ When~ what~

言いたいこと、伝えたいことはなんとかなる。

返ってきた英語がわからない。

- ・ネイティブイングリッシュをたくさん聴いて慣れること
- ・わからないと正直に言う→ゆっくり簡単に言ってくれる

ホームステイさせていただいたお家 (Lynmore Primary schoolの先生の家)







授業実践

6年1組で、動画を作成

学校生活、長野について、アニメや音楽、季節、日本の遊びなど
観てもらった後に、日本の遊びなどを体験





日本の学校に生かすために

Lynmore Primary schoolのいいところ

- 型にはめようとしなから子どもたちがのびのび生活、学習をしている
- 今していることが、自分の未来に直接つながっているという自覚
- 子どもにフォーカスした学習スタイル
- 自由進度、探求型、協働型学習
- 時間に余裕を持った学校生活
- 広い敷地

国の文化、保護者の考え方、指導する内容などバックグラウンドが違う

日本には受験があり、学習指導要領があり、細かく学習しなければならないことが明記されている。学歴社会は解消されてきているが、ぬぐい切れない。

- 子どもにフォーカスした学習スタイル
- 自由進度、探求型、協働型学習
- 型にはめない。

生活科、総合的な学習の時間、特別活動

教科横断的な学習、それぞれが違うゴールを見据えての学習、仲間と足りないところを補いながらの学習



全教科へ横断的につながっていく形